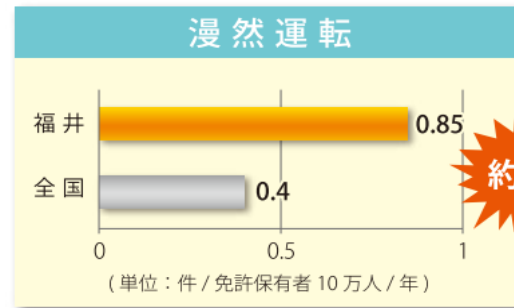
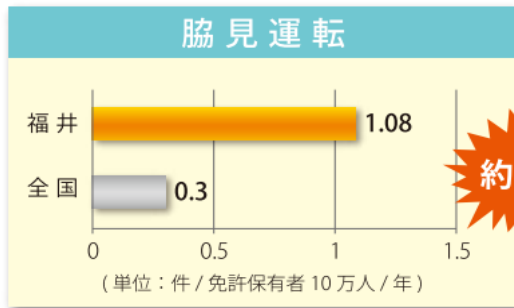


令和3年度福井県交通死亡事故発生調査分析結果（概要）

● 脇見運転と漫然運転が多い → まずは「運転に集中」

福井県は、全国の平均と比較して自動車の運転中の死者数が約3倍（人口当たりの死者数による比較。以下同じ。）と、とても高くなっています。特に、「脇見運転（全国1位）」や「漫然運転（全国4位）」が全国と比較して多く、きちんと前を見ていたら防げるような事故が多くなっています。

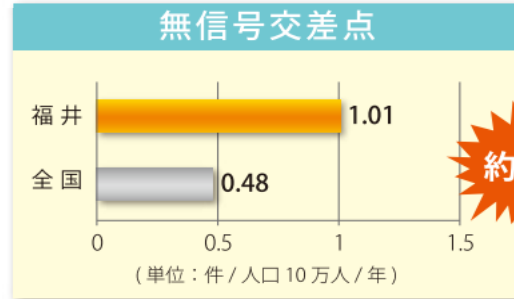
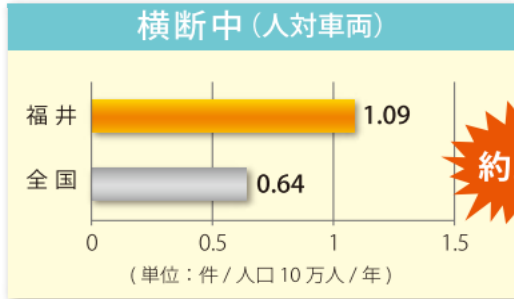
車を運転する責任を改めて認識してもらい、まずは**運転に集中**することが何より大切です。



● 横断中の事故や交差点での事故が多い → 横断歩道での「歩行者ファースト」

福井県は、全国と比較して「横断中の事故（全国6位）」が多く、発生場所は、特に「無信号交差点（全国2位）」が多くなっています。

横断歩道等の手前では、いつでも止まれるようにスピードを落とし、歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場合は、必ず一時停止をして、**歩行者ファーストを徹底**しましょう。



● 夜間横断中の事故が多い（特に高齢者） → 「反射材の着用」と「こまめなハイビーム」

福井県は、全国と比較して、歩行者の交通事故の死者に占める高齢者の割合が約9割と高くなっており（全国1位）、また、夜間は昼間に比べ横断中の事故が約4倍発生していることが分かっています。（昼間：全国19位、夜間：全国3位）

夜間における歩行者が犠牲となる事故を防ぐため、**こまめなハイビームへの切り替えを徹底**しましょう。また、歩行者は自分の命を守るため、**反射材の着用**を心がけましょう。

